

11 フネアマガイ

(フネアマガイ科)

兵庫県ランク:B

Septaria porcellana

環境省ランク:指定なし

種の概要

主に奄美大島以南、小笠原に分布するが、近年は伊豆半島から九州南部、淡路島北部などでも越年個体が確認されている。汽水域上限付近から純淡水域の中・下流域に生息し、岩礫などの硬い基盤に付着して生息する。殻径30mm前後の亜円形で、後方の膨らみが大きい。殻頂部は殻口外縁と同じかわずかに突出し、隔板の内側は緩やかな弧を描く。殻の地色は黄褐色で、三角形の網目模様が密にある。また、黒色の縞模様や漣模様を有する個体もある。蓋は肌色で外縁は赤褐色のキチン質で縁取られ、内方は1辺のみ細い突起が出る。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△	△		○	○			○

県内分布

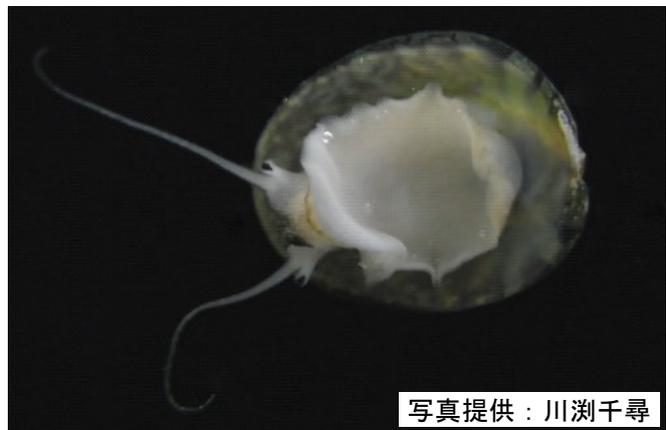
洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

AからBに変更。1998年に淡路島北部東岸の小河川で生息が確認されたが、その後の大雨により流路や生息環境が変わったため、同地では現在まで再発見されていない。近年、淡路島中部の小河川下流域で新たに数箇所の生息地が確認されたにすぎない。

保護上の留意点

緩流部をほとんど形成しない、汚染のない、下流域が岩礫底で構成されている小河川や細流の保全。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修

【執筆者】 川渕千尋